

MY FIELDとは...

原村の地域おこし協力隊が発行するかわらばんのことです。原村で暮らす、おもしろくて素敵なお話を紹介します。



「WandsWorth」

佐藤 初代さん(60)

東京都出身。山での暮らしを求め2004年に原村へ移住。自分の「好き」を大切に、宿泊施設経営の他、マグナロンガやイングリッシュクリスマスフェア等各種イベントを企画。1年間の大幅な改装を経て今年4月にリニューアルオープンを果たした「WandsWorth」には初代さんの大好きが詰まっている。



宿泊の他、レストラン・デリカテッセン・アンティークショップを新設しました。是非お気軽にお立ち寄りください。



原村を沢山の人に感じてほしい
大切なことを教えてくれた原村に恩返しを



結婚後神奈川県で暮らしていたが、ある日ご主人から「山の中で暮らしたい」と提案された。とても自分には無理だと反対をしたが、不思議なくらいトントンと話が進み、気が付いたら今のペンションを購入することになっていったという。「あの時私たち夫婦は原村に導かれていたと思います。」と当時を振り返った。

料理が苦手だし、ペンションの経営なんて絶対にできないと思っていた初代さんは、最初の3年間で泣きながら過ごしたそう。「でも、より良くしていこう、自分が好きな空間にしていこうと頑張っているうちに、お料理も好きになり、お客様にも喜んでいただけられるようになりました。今では心から楽しんでいきます。」と笑顔で話し、何事にも前向きに向き合い自分自身が楽しむことで、物事の見え方はがらりと変わり、人生が輝きだすのだというのを教えてくれた。「今では山の中で暮らしたいと

言った夫の気持ちも本当によく分かります。思わず足を止めてしまうような景色がすぐ側にあって、それが自分の中に染み込んで自分の感性となっていくことが嬉しいのです。」と話し、日常の中にある煌めきに少女のように胸をときめかせていた。

「ワンズワースをきっかけに原村を知ってもらえたら嬉しいですよ。原村に恩返しができるようにここをより魅力的な場所にしていきたいです。」と話し、無理をしない生き方を教えてくれた原村を多くの人に知ってもらい、この地の空気を感じてほしいと語った。

都会では我慢や忍耐が当たり前だと思いきなりしなかったが、原村に来て大切なことに気付かされた話す初代さんは、「嫌なことは極力しない、好きなこと、幸せだと思ふこと、美しいものを見て暮らしたい」と語る。それは決してわがままではなく、素直に人生を楽しむということ。そしてその姿は輝き人を引き付け、地域はより一層魅力を増すのだ。